

会 議 録

日 時	平成30年3月15日(木) 午後4時00分～午後5時05分	場 所	日新館 市民ホール
会 議 名	【H29.8～H31.7期】第3回矢島まちづくり協議会(市長要請)		
出 席 者	別添 出席者一覧のとおり		

案 件 及 び 会 議 内 容

開 会

【茂木鉄也振興課長】

大変、お疲れ様でございます。第3回の矢島まちづくり協議会ということで、ご案内申し上げましたところ、この名簿にありますとおりの出席となっております。二人の方、まだ、お見えになっておりませんが遅れるという連絡が入りましたので、ただいまより第3回の矢島まちづくり協議会、市長要請ということで開催させて頂きたいと思っております。開会にあたりまして佐藤会長よりご挨拶をお願い致します。

1. 会長あいさつ

【佐藤久美会長】

皆さん、こんにちは。今日は第3回目ということで、時間ちょっと早めの開会になり皆様には、大変お忙しい所、ご出席を頂きまして本当に有り難うございました。今日は内容にありますとおり30年度の由利本荘市の事業を教えて頂くという事が主な議題になろうかと思っております。この後も準備してございますので時間は約1時間位で終わりたいなと思っております。それから、今日欠席、懇親会欠席となっている方、もし都合がつかましたら是非、参加して頂ければ有り難いかなと思っております。ひとつ今日は宜しくお願い致します。

2. 矢島総合支所長あいさつ

【茂木鉄也振興課長】

有り難うございました。続きまして矢島総合支所長の佐藤俊一が、ご挨拶を申し上げます。

【佐藤俊一総合支所長】

今日は第3回のまちづくり協議会全体会にご出席頂きまして誠に有り難うございました。8月に、ご委嘱申し上げましてから全体会では今日で3回目と、それから各部会においては、数回それぞれということで、ご意見等々たくさん頂きまして本当にお礼を申し上げたいというふうに思います。今日は、今、会長さんから、お話がありました様に地域の事業ですとか、あるいは市の30年度の主要事業、地域の主要事業について、ご説明を申し上げ、これから皆様方が活動していく上での、いろいろ参考になればということでの全体会ということでございますので宜しくお願いしたいと思います。現在、議会が開会中でありまして、この予算等々、審議されているわけでありまして20日の日に議会の最終日ということで、そこで議決を願うというものもあると思いますが予算計上していた事業について今日ご説明申し上げますので、その他で、いろいろな、ご意見等々伺いできればというふうに思います。どうぞ宜しくお願い致します。

【佐藤昌司振興課課長補佐】

そうすれば会議を始める前に、ちょっと資料の確認をしたいと思っております。皆さんの封筒の中に入っております次第が1枚、それから出席者名簿ということで裏面が席次表になっている資料が

1枚、それから資料の1ということで、これが由利本荘市全体の主要事業、これが平成30年度の主要事業ということで資料の1になります。それから資料の2ということで、これが矢島地域の主要事業という資料でございます。A4の横長の資料になります。それから平成30年度の地域づくり推進事業の事業要望一覧という、これもA4の横長、両面刷りのものです。失礼しました。3月15日、矢島まちづくり協議会資料という左上の方に訂正して頂きたいと思います。矢島地域市議会議員との行政懇談会資料と書いてありますが矢島まちづくり協議会資料ということになります。それから資料の3ということで平成30年度の矢島地域の主な行事予定（上半期）というA4の縦長、両面刷りのもの、それから資料の4ということで福祉教育部会の取り組みについてのA4の資料、それから封筒の中に入っていなかったと思うのですが鳥海山、木のおもちや美術館のパンフレット、A4横長のカラー刷りのものをお配りしてありますので無かった方は事務局まで申し出て頂きたいというふうに思います。以上です。

【茂木鉄也振興課長】

続きまして3の協議に入らせて頂きたいと思います。協議の進行の方は会長より、お願いしたいと思います。

3. 協 議

【佐藤久美会長】

それでは早速ですが、協議に入らせて頂きます。それでは協議の次第に従いまして（1）の平成30年の主要事業についてということで事務局から説明をお願い致します。

（1）平成30年度主要事業について

【茂木振興課長】

それでは皆様のところに、お渡ししております資料1に基づきまして、①番の由利本荘市全体主要事業についてについて説明させて頂きます。1番から196番までありますので、これを全部、当然、説明するというにはなりませんので、主なものを5つ程度について説明したいと思います。

①由利本荘市全体主要事業について

【茂木鉄也振興課長】

まずは主要事業の資料1をご覧頂いてナンバー3をご覧下さい。総合防災公園の関連事業ということで、いわゆる由利本荘アリーナの建設運営に関する事業になります。この他、この3番の資料の方の番号でいきますと128番の公園整備事業、アリーナ建設、屋根付きグラウンド建設、公園整備というので31億7千万程、それから166番になりますがアリーナの指定管理運営委託ということで8千1百万程のものが計上されてございます。この3番に戻って頂きまして、この事業ですが開館記念式典イベント等ということで3億2千7百70万程の事業費ということになりますけども、このアリーナ自体が今年の10月1日にオープン予定でございまして。これからおとし等々もございましてけれども大きなイベントといたしまして10月6・7の土日あたりにコンサート、記念行事を開催する予定でありますが、なにぶんAKTとの合同開催というような事なのでAKTの方が待ってくれということで最初にどういふ方々が来てのコンサートなのかというのを言わないと、市の方でも言えないということで、今の所だいたい決まっているようですけれども、まだ公表されていないということで新年度になれば、でてくるものかと思われます。それと市のアリーナ指定管理というものにつきましては、大手のスポーツ会社でございまして、ミズノグループが、これにあたるということになります。出来上がりますと市と指定管理者

の役割、どう違うの、どう棲み分けるの、といったことが出てくるかと思います。催し物などに関しましては、それを主催する競技団体などが主体になります。そしてコンサートや興業は、いわゆる主催するイベンターが主催するということになります。そして市民対象のスポーツ教室等につきましては指定管理者や市が主催するといった様な棲み分け方になるという事でございます。また、64番の方に健康元気の活動みたいなものがございますけれども、これは本荘の保健センターと共にインターバル速歩普及に努めるというところの拠点として、このアリーナも使われるといった所が主なところでございます。続きまして4番の鳥海山、飛島ジオパーク推進事業でございます。2千2百万程の予算の計上になっておりますけれども、皆様ご存じの通り由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町の3市1町の広域連携取り組み事業ということでございます。これに関しましては平成28年度位から取り掛かっているわけですが111番に玉田溪谷探勝歩道整備事業というのがございます。1千2百50万程ですけれども、これが法体の滝の上の玉田溪谷の歩道を整備するといった事で関連になります。また、本市のジオサイトとしては法体の滝や桑の木台湿原など14箇所ほどございますけれども、そこには特に、この桑の木台湿原あたりはシャトルバス運行等もするという事で102番に鳥海山等観光振興事業で事業費が4百50万程計上されてございます。さらに直接的ではないですけれども、北前船というのがございます。北前船フォーラムの日本文化遺産に登録されました。その団体に由利本荘市も参加しようということで、この4月くらいに入る予定ということで105番に北前船寄航地交流促進事業で1百50万程の予算が計上されてございます。これ自体は北前船の寄航地フォーラムを誘致しようというようなことで動き出しているものでございます。それから、先程、資料の説明にもありました通り18番です。木のおもちゃ美術館の整備推進事業ということでございます。木育の多世代交流の施設ということで木のおもちゃ美術館の整備につきまして1億程、場所は、ご存知ご案内のとおり旧鮎川小学校の内部を改装いたしまして7月の開館を目指すものでございます。同事業と関連、致しまして17番に、その18番の上ですけれども木のおもちゃ美術館の推進事務局を誕生祝い品贈呈事業というのがございます。1百35万程の予算計上でございますが生まれた赤ちゃんに対しまして地元の職人の方々が地元の木を使った木のおもちゃを作るといった誕生祝い品を贈るという制度でございます。対象になるのが今年の4月2日以降に生まれた、お子様から対象ということでございます。また、これが関連いたしまして、これには事業費含まれてございませぬけれども由利鉄の車両一両を木のおもちゃ列車として改装いたしまして美術館の開館に先だち6月からの運行を計画してございます。ただ目的地に、おもちゃ美術館に出かけるということではなくて、行ってみようかといった時から、いわゆる木に親しむというような意味合いを含めまして、移動の、その木のおもちゃ列車に乗りながら、そして美術館の方も、また楽しんでいただけるというストーリー仕立てで計画されるものでございます。それから番号が飛びまして129番です。羽後本荘駅の東西自由通路の事業がでございます。概要といたしましては今年度の事業費が3億6千万程、計上されてございますが、今、設計を行っている最中でございます。これによって全体の事業費が明確になるわけですが、だいたい39億位といわれておりますが、実績も若干変わるという所でございます。東西自由通路の延長が今の本荘駅から梵天の方まで55m程伸びます。橋上の駅舎という事が特徴になりましてJR側に乗るにいたしましても、おばこに乗るにいたしましても改札口が二階になるということが特徴になるということでございます。併せて東西の両側の方にエレベーターが設置されるといったものでございます。平行いたしまして周辺の駅前広場等も整備されるということで、完成につきましては平成32年度を計画しております。平成28年度から平成32年度までの5カ年に渡る事業ということで現

在、進められてございます。それと最後になります。この計画にはございませんけれども市も絡む大きな事業といたしまして鳥海ダムの建設事業がございまして。もともとの目的が治水だったり利水だったりというようなこととございますけれども、勿論、水道水も矢島の場合は違いますが、由利本荘としては2万7千リットル位、2万7千立法を使うといったことで申請を出す協議を進めてございます。その他、観光振興ですとか、環境文化等の絵の活用等々が目的としては掲げられるということで、出来上がった暁には貯水量が4万7千立法といわれておりますのでピンとこないのですが、よく例えられるものでは東京ドームの38杯分といったスケールのものでございます。昭和45年あたりに、この事業が秋田県によって着手になりましたけれども、その後、国の直轄事業になりまして平成30年の9月までには県の環境影響評価のものが完成しますし、それと同時に基本計画も発表されることとなります。これによりまして、いわゆる事業費や工期といったものが明らかになりますけれども新聞等、魁によりまして平成40年度までには完成を見込むといった事が報道されている昨今でございます。経済効果といたしましては観光面ということで今、百宅地区に通っている道路を腹囲が5m程ですけれども観光道路と位置づけまして、さらに2m程、幅員も広げまして7mの幅で整備、或いは展望台、駐車場等を設けるといったものを進めるといったこととございます。当然、その分につきましては市が負担するといった事になりますので何十億になるのか何百億になるのか、今、ちょっと試算中だと思いますけれども、そういう負担金が当面でてくるといったこととなります。また教育の面に関しましては地域の団体で、ふるさと教育ですとか木育美術館研修であるとか小中学生の環境学習ゆったのものに使われることもございます。それと発電事業も、すでに決まりました。秋田県が事業者になって、そこで水力発電を行うといったこととございます。ちなみに平成30年度の予算と致しましては16億3千2百万、今の所、発表されている工事費が8百6十億といったもので10カ年計画の見込みになる予定でございます。ということで発表されております。私の方からは①番の由利本荘市全体主要事業についての説明でございました。続きまして②番の矢島地域の主要事業について資料2に基づきまして各担当より、ご説明申し上げます。

②矢島地域の主要事業について

【佐藤陽一振興班長】

はい、それでは私の方から振興課所管について説明させていただきます。資料の1ページ目をお開き下さい。平成30年度主要事業、矢島地域矢島振興課のイベントでございます。1番の地域づくり推進事業につきましては、予算額2千6百万円、矢島地域からは18事業5百6万円の補助の要望がございます。本日、配布しておりますA4の両面刷りの資料の方をご覧下さい。平成30年度地域づくり推進事業、事業要望一覧でございます。左手の方に番号をふってございます。裏の方を見ますと合計で18事業でございます。後半の15項目以降が平成30年度の新規事業ということになってございます。16番と、それから17番目、矢島地域独身者の出会いの場創出事業及び矢島地域観光情報冊子作成事業につきましては、当協議会からの要望事項でございます。こちらの補助事業の決定につきましては地域振興課におきまして各地域からの要望をとりまとめの上、今月中に内示をすることになってございますので宜しくお願いいたします。資料の方に戻りまして2項目目コミュニティーバス運行計画事業でございます。予算額は2百9十8万7千円でございます。寿康苑から桃野の間を1日1往復してございます。3点目、地積調査事業でございます。予算額は平成29年度の繰り越しの予算ということで2千2百2十9万2千円でございます。調査地区は立石字下貝喰地内の69ヘクタールを予定しております。4項目目、地域間交流事業につきましては予算額3十6万2千円、これは佐久市、丸亀市への物販の出店費用等

でございます。佐久市には11月上旬の佐久農業祭、丸亀市は5月のゴールデンウィークに開催される、お城祭りを予定してございます。続きまして5点目、同報系行政防災無線屋外拡声子局増設事業につきましては予算額8千4百24万円の予算でございます。矢島地域では5基の増設と現在、矢島消防署に設置されておりますモーターサイレンの老朽化したモーターサイレンの撤去を予定してございます。運用開始につきましては7月の中旬を予定してございます。6点目消防水利整備事業につきましては予算額1千1百万円でございます。これは新荘地域に耐震性消防水利を1基設置する予定でございます。7点目、窓口サービス一元化につきましては新年度の新しい総合支所の体制として現在の振興課と、それから市民福祉課の窓口の一元化が予定されてございます。これによりまして来庁者、皆さんの利便性の向上を図って参りたいと思っております。振興課所管のものにつきましては以上でございます。

【田中順子市民福祉課課長補佐】

それでは市民福祉課の主要事業について、ご説明いたします。資料2ページの方になりますのでご覧下さい。始めに1番の敬老会ですが平成30年度は6月2日、矢島体育センターを会場として開催を予定しております。矢島地域の対象者は2月15日現在ですが1,117人でありまして当日の出席者が380名ほどを見込んでおります。事業費は1百3万2千円でございます。なお平成30年度から記念品の贈呈は参加者の方へと変更になっております。続きまして2番、高齢者等施設修繕事業、7万6千4百円でございますが1つ目、高齢者生活支援ハウス補修事業としましては石油温風暖房機4台の交換修繕となっております。現在、生活支援ハウスには8台の石油温風暖房機がありますが28年度に、すでに4台を交換済みであります。2つ目の老人福祉センター寿康苑の補修事業であります浴槽加温熱交換一次配管の腐食の修繕及び男女の脱衣室の床の劣化が進んでいる為、修繕を予定しております。3番、矢島斎場火葬炉等補修事業6百3十七万2千円でございますが内容としまして定期的な補修であります台車ブロックの打ち替えや火葬炉のレンガ部分の積み替え、さらに矢島斎場は平成11年の開設から19年経過していることから耐用年数が過ぎています設備を交換修繕するものでありまして主なものとしましては炉制御盤、動力制御盤のPLC、断熱扉の電動チェンブロックであります。続いて4番、国保制度の変更についてですが現在、市町村ごとに運営されている国保制度が平成30年4月から秋田県も市町村と共に国保運営を担うことが決まっております。運営の仕組みは変わりますが国保税の納付先や加入者の医療や届け出、申請などの窓口は引き続き市で行いますので変更はありません。5番、軽度生活援助事業（除雪事業利用者負担）でございますが、現在無料である除雪作業の利用者負担を平成30年10月作業分から利用者の市民税の課税状況に応じて1時間あたり非課税世帯100円、均等割課税のみ世帯200円、課税世帯300円、以上を徴収するものであります。この事業の矢島地域での除雪作業の実績ですが平成28年度は2,640時間、こちらに平成29年度1月末現在2,183時間とありますが、現在2月末現在の実績も出ておりまして今年度は降雪量が多かった為3,203時間となっております。また、こちらで計算してます除雪作業以外の軽度の利用者負担も改正になりまして現在の30分50円から除雪作業と同様に市民税の課税状況に応じて100円から300円の負担となります。ただし、非課税世帯であれば1時間あたりの金額はこれまでと同額であります。6番の健康の駅事業であります。現在、矢島地域では高齢者等のふれあいサロンを実施している町内が多くある為、これらの会場が小規模健康の駅として登録され地域コミュニティーの活性化になる様、働きかけを行っていきます。また、現在、市内各地域でインターバル速歩事業が実施されておりますが、平成30年1月から矢島地域においても屋内運動広場にて実施されており、多くの方が参加されております。今後も引き

続き支援等を行いながら住民の健康増進に寄与して参ります。以上で市民福祉課の説明を終わります。

【土田智之産業課参事】

続きまして産業課の方に移らせて頂きます。13ページ目からでございます。始めに農林水産班の方になりますが、こちらにつきましては国、県、市等の事業がありまして、そちらに農家なり団体なりが制度にあった申請等をして頂きまして、それに対して助成等を行っているといった内容が、ほとんどになります。資料の方4ページの7番でございますが経営農地集積加速化基盤整備事業、小板戸地区と掲載されてございますが、こちらにつきましては、いわゆる圃場整備でございます。今の田んぼの区画を大きくする工事をするということで、ただいま計画されてございます。場所につきましては、皆さん、ご承知の小板戸地区の国道の左側、あと下の方と云えば表現が難しいですが、線路側の方と2地区と言いますか、2箇所について、今回圃場整備をするということで平成30年から32年までは、その工事をする為の調査を行いまして、その後、工事着手という様な形で進めていくということで、現在計画の方が進んでいるところでございます。続きまして、資料5ページの方になりますけれども14番、15番ということで、こちらにつきましては、それぞれの地域から要望があったものにつきまして、県の方に市の方からお願いをいたしまして、この様な事業をしたいのですがということで要望したところ、事業採択をして頂いて進めているということで、14番につきましては木在地区の林道整備ということで平成27年から31年までの事業となっております。15番につきましては沢内地区の県営治山工事ということで、こちらにつきましては、平成30年までの予定でしたけれども平成29年の事業が繰り越しということで、工事が後ろになった関係で平成31年までということの工事の予定となっております。あと、この他の地域要望の県事業につきましては県に要望しながら、県の方で認めて頂ければ事業の方も進めていくという様な形ですすめていきますので宜しく、お願いいたします。

【佐藤徳和産業課課長補佐】

続きまして、16番から19番までの商工観光班の件につきまして、ご説明、申し上げます。16番、17番につきましてはスキー場のクワッドリフトの機器の修繕事業とナイターの照明整備事業でございますので、兼ね合いますので併せてご説明いたします。予算といたしましてはクワッドリフトの機器修繕事業ですが2千3百3十2万円となっております。こちらの方はクワッドリフトの握索装置と言いましてワイヤーを掴む部分の部品でございます。こちらの方、3年に1回、オーバーホールをしておりますので、その年になっておりますので修繕の方を行うという形をとっております。また併せまして搬器を降ろす作業もございまして併せてサスペンダーブッシュという部分、搬器の揺れを軽減させる部品でございます。こちらの方も1度も交換した事がございませんので、そちらと搬器の検知センサーの方も、これまで交換したことがございませんので併せて行うということでございます。ナイターの照明整備事業でございますが、工事でございますが2千5百9十万6千円となっております。こちらの方は実施設計と工事請負費を合わせた形になってございまして工事内容といたしましては、400ボルトの系列のナイター照明が正面のゲレンデと、あとスタートハウスのある左側の上の方のゲレンデでございます。こちらの方を200ボルトに変更しまして、また水銀灯からLEDの照明の方に変更して電気料の方を安価に済ませようというところでも考えてございます。また、2020年度、20年ですね。2020年4月までに水銀灯の生産が中止になるということが民間の方から発表されておりますのでLEDの方に変更していくということでございます。18番のサイクルロードレース大会の補助事

業でございます。1百50万を計上してございます。すみません。こちらの方の事業内容の方になります。第31回矢島カップとございますが来年度は32回となりますので、ひとつ訂正の方をお願いしたいと思います。申し訳ございません。32回の矢島カップバイシクルクラシックの補助金でございます。来年度は7月29日土曜日がタイムトライアル、30日日曜日につきまして祓川までの第2ステージということになってございます。こちらの事業につきましては、中学生、高校生、また地域の住民の方から、ご協力を頂いて毎年開催している事業でございます。また今年も、ボランティアの形で皆様からご協力を頂きながら事業を成功させていきたいと考えておりますので、ご協力の方を宜しくお願いいたしたいと思っております。19番でございます。子供の国遊具設置事業でございます。2百20万円が計上されております。こちらの方は花立の子供の国でございます。こちらの幼児向けの遊具が老朽化に伴いまして、少なくなっております。そちらの方を増設させて頂きたいということで計上させて頂いたところでございます。産業課からは以上でございます。

【齊藤政樹建設課参事】

続きまして建設課所管の事業を説明いたします。資料の方7ページをご覧ください。1番、市道祓川線、道路拡幅事業になりますけれども事業費が2千4百50万円となっております。これは全体計画で5工区ありますが、今年度、1工区完成し来年度は2工区延長130.9メートルに着手いたします。場所といたしましては祓川の第2駐車場の手前の急カーブの部分になります。続きまして2番、市道矢島下郷線歩道設置事業、事業費が1千9百51万円となっております。工事費等で1千9百万円、それから登記委託費で51万円となっております。場所の方が橋を過ぎてから立石までの直線道路の部分の歩道設置となります。3番ですが、市道猿倉花立線復旧事業、総事業費が30年度は4億5千万円となっております。内訳の方にありますとおり平成29年度からの繰り越しが3億円、30年度の当初予算で1億5千万円となっております。延長の方が170メートルとなっております。平成32年度の供用開始を目指しています。続いて4番、川辺木在地区農業集落排水施設機能強化事業、3百万円、これは、平成30年度は機能診断の調査のみやるもので、それを基にいたしまして平成32年度に改築事業を行う計画でございます。続いて5番です。矢島地域市営住宅長寿命化事業1百35万6千円の事業費となっております。これは柵ノ木田住宅の外壁等の工事設計業務の委託費となっております。続いて6番です。住宅リフォーム資金助成事業、これは市全体の事業費で5千万円となっております。区分としては事業内容にあります4つの区分が補助対象となっております。市内全域の補助事業ですので予定があれば早めに言って頂ければというふうに思います。建設課は以上です。

【佐藤のり子教育学習課班長】

続いて、矢島教育学習課の方をご説明いたします。ページは8ページ、9ページとなります。まず1番ですけれども、多目的運動広場外野フェンス塗装修繕です。こちらは多目的運動広場の外野のフェンスを塗装するものです。予算計上額は1百60万です。2番、矢島小学校通学支援事業費です。こちらは、由利高原鉄道および羽後交通バスを利用して遠距離通学する小学生児童1年生から6年生に対して定期券を交付する事業です。予算額は92万円となっております。3番の児童生徒就学援助事業につきましては、事業内容についてお話したいと思います。こちらの事業は経済的な理由で学校生活が困らないように修学旅行費、学校給食費、学用費等を補助する制度です。矢島地域では昨年11月に小学校、中学校の全保護者と新1年生に対し、1年生の保護者に対し、お知らせしております。こちらは申請に基づき市が定める基準額により判定されます。続いて4番の矢島小学校改築事業です。矢島小学校の校舎は昭和47年に建築され平成2

2年度、23年度に耐震化補強工事、平成27年度から29年度は危険箇所修繕などを行いました。建築後46年が経過しており改築が計画されております。平成27年、28年度には小学校、中学校の校長先生はじめPTA会長、各団体の代表の方々より委員となって頂き改築検討委員会を5回、開催し矢島地域の教育の将来などを話し合い、提言書としてまとめております。なお29年度は建築場所について保育園、小学生の保護者、一般の市民の方々よりアンケートとして、ご意見を頂き、その結果を広報に折り込みし、矢島地域の方々へ配布しております。なお、今年1月には学校環境を考える集いを開催、今後は、30年度は具体的な方針、計画を定める予定であります。続いて5番についてです。放課後子ども教室、これは小学校で行われている事業です。小学校の余裕教室を利用し地域の方々をコーディネーター、教育活動サポーターとして子供達と勉強やスポーツ等の交流活動を行い、そのような活動を通じて子供達が地域の社会の中で心豊かで健やかに育つための環境を提供する為の事業です。コーディネーターとして1名、教育サポーターとして5名を、お願いしております。対象学年は小学校1、2年生で開催日は火曜日と木曜日の午後2時から4時、そして期間は5月から11月、実施しております。続いて6番の学校支援活動事業です。こちらは小学校、中学校共に行っております。住民が学校支援する活動を通じて学校、家庭、地域が一体となり地域ぐるみで子育てをする体制を作っていく為の事業で、子供が地域の大人と触れ合う機会や、さまざまな経験をする機会を広げることで子供の生きる力を育てる事を目的の一つとなっております。続いて9ページになります。チャレンジデー2018です。こちらは日常的なスポーツの習慣化にむけた切掛けづくりや住民の健康づくりを目的として毎年5月の最終木曜日に行われています。今年5月30日が予定されております。8番、9番につきましては矢島教育学習課で担っている事業について掲載しております。説明は以上です。

【本多由美子南部地域包括支援センター班長】

南部地域包括支援センターから主要事業について説明いたします。10ページをご覧ください。1番の介護予防日常生活支援事業につきましては介護予防ケアマネ等事業ということで介護保険の申請者、要支援者に対して、また相互事業の対象者について自立に向けたプラン作成をしているものであります。市全体としての利用者数は488人で、南部地域で担当している方は11名になります。また高齢者の相互相談窓口を行ってのわけなんですけども南部地域包括支援センターは4月から開設しまして1月末までの相談件数が1,570件ということになっております。続きまして2番になります。介護支援ボランティア事業につきましては、高齢者の社会参加、健康増進、介護予防、生きがいづくり等を目的にボランティア活動を行った高齢者に対しポイントを付与し、そのボランティアの実績に基づいて特産品と交換するものとか換金するものでございます。29年度の登録者数は市全体で164人、矢島地域では25の方が登録しております。10月にポイント交換をするわけなんですけども10月に交換された方は市全体で58人、矢島地域では6の方が換金しております。続きまして3番です。地域ミニデーターサービス活動支援事業につきましては、地域支援事業としてミニデーターサービスを実施している町内会等に公金を交付し活動を支援するものであります。市全体の申請者数は、申請者、町内数は34町内となっております。矢島地域は、大川原、水上、坂之下、上新荘、中屋敷の5町内が申請しております。続きまして4番の認知症総合支援事業につきましては認知症になっても出来るだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう認知症施策に取り組んでおります。認知症カフェの運営補助金として30年度は、3箇所を新たに補助対象にして設置することになっております。29年度のカフェ運営状況は2箇所でありまして大内地区となっております。5番の認知症高齢

者見守り事業につきましては、主に認知症見守りSOSネットワーク事業というものを行っております。ネットワーク事業の登録事業者数は市全体では76事業所、登録者数は11人となっております。矢島地域の登録者はありません。また、認知症セミナーにつきましては、南部地域包括支援センターが立ち上がったことで、市全体1箇所で行っていたものを今年度は2月14日に日新館においてセミナーを開催しております。参加者は60名と好評でありました。6番目の生活支援体制整備事業につきましては高齢者の生活を支えるため地域住民みんなで支え合う地域づくりを目指し各地域に地域支え合い推進委員を配置し地域づくりをすすめているところであります。地域支え合い推進委員9名を各地域の社会福祉協議会に委託しているものであります。その他、掲載はしていませんが包括支援センターの周知、介護予防に関する広報や実技等について地域に出向いた回数が南部地域包括支援センターの年度150箇所、出向きまして周知活動を行っております。また認知症の理解を深めるための普及、啓発活動として認知症サポーター行政講座を平成21年から実施しているわけなんですけども今まで245回の8,357の方がサポーターとして育成しております。矢島地域は32回、実施し577人の方にサポーターになって貰っております。南部包括支援センターからは以上の説明となります。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。ただ今、市全体の事業として矢島地域の主要事業ということで説明を頂きました。皆さんから何か質問とかございますか。

無い様ですので、無いということで宜しいですか。私から一つ良いですか。

【佐藤俊一支所長】

先に補足、良いですか。矢島地域の主要事業の1ページに7番のところ、窓口サービスの一元化ということで、ご説明をしましたが現在の予定ですけれども4月1日に機構改革をしまして今の振興課と市民福祉課を1つの課に、まとめまして市民サービス課という形で立ち上げる予定であります。現在、庁舎に行きますと入ってきて右側に住民票の交付、奥の方で税務の証明など所得証明など出しておりますが、その窓口を右側の方で一本でやると、というような形で機構改革をするということで、ちょっと配置も換わります。そういうご案内については4月以降のご案内になりますけども、お客様の窓口に来た時に、向こうだとならないような形にしたいということで、いずれ、いろいろ詰めているところでございます。

【佐藤久美会長】

有り難うございました。あの機構改革、これ市全体が、そうなるということですね。

【佐藤俊一支所長】

はい、そうです。

【佐藤久美会長】

市民福祉課の部分で、軽度生活援助事業で、除雪作業は今より若干、有料になるという部分もあるということですが、今、現在、例えばシルバー人材センターに1時間いくら払っているのですか。

【田中順子市民福祉課課長補佐】

シルバー人材センターの方には、あの事務手数料も含めまして1,100円になってます。

【佐藤久美会長】

はい、わかりました。1,100円ということで、当人には1,000円位入るといことなのでですね。最低賃金よりは高くなっているということで。それから、もう一つですね、その包括支援センターの中の高齢者見守りSOSネットワーク支援事業ですけども、300人位入ってい

るみたいなのですが、これが、なかなか私の認識不足なのかもしれませんが、あるのが知りませんでした。是非ですね、やっぱり認知症とか徘徊とかの実態を知るのは地域の民生委員だと思うんですね。一番、独居老人だとか高齢者世帯とかって、ぜひ矢島も民生委員の方にも、これに入って頂くように努力して頂ければ宜しいかなと思いますけども、ただ、こういうことで、私が出席した会議でそういう感じがしましたので、是非、あの参加して貰う様にして頂ければ有り難いかなと思っております。宜しくお願いします。他にございせんか。無いとすれば1番目の主要事業については、これで終わりたいと思います。次に4番の報告事項に入らせて頂いて宜しいでしょうか。じゃ事務局から宜しくお願いします。

【佐藤昌司振興課課長補佐】

すいません。(2)の行事予定、まだ、ちょっと、お話してなかったの。

【佐藤久美会長】

すいません。飛ばしました。そうですね(2)の平成30年度の矢島地域の主な行事予定ということで報告をお願いします。

(2) 平成30年度の矢島地域の主な行事予定(上半期)について

【佐藤昌司振興課課長補佐】

はい、そうすれば、資料の3A4の縦長両面のものを使って説明したいと思います。平成30年度の矢島地域の主な行事予定(上半期)ということで、ご説明申し上げます。4月から申し上げますが1日から春の防火予防週間が7日まで行われます。4月の6日、矢島高校の入学式、午前中、矢島中学校の入学式が午後からということになります。4月の9日には矢島小学校の入学式がございます。ずっと下の方にいきまして4月の27日、鳥海山の山開きが開催されます。5月にいきまして5月の12日、矢島小学校の運動会になります。それから5月の30日、先程、木曜日と言ってましたが、水曜日の間違いですので、水曜日チャレンジデー2018イン由利本荘ということで開催されます。6月の2日矢島地域敬老会が体育センターの方で開催されます。6月の10日、消防の矢島分団の伝達講習会がございます。6月の24日、これも矢島分団の消防訓練大会が24日となります。この下の方に矢島中学校の運動会と矢島高校の体育祭が欄外に記載されておりますが、今日の会議で決まるということでしたので後ほど、お知らせしたいと思います。それから裏面に参りまして、7月の8日には市の消防訓練大会がございます。7月の28、29日は先程、説明ありました第32回マウント鳥海バイシクルクラシックがございます。8月に参りまして8月の11日、鳥海山の遊登山、9月の8日、9日が八朔祭りということで上半期の今の時点で分かっている予定となっておりますけれども、下の方に米印でミニチャレンジデーということで毎週水曜日、体育センターの方で開催されるというような行事予定となっておりますので宜しくお願いします。以上でございます。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。大変、失礼致しました。行事予定については宜しいですね。こういう形でしたので、それでは4番目の報告事項ということで、これは福祉・教育部会の取り組みについてということで事務局から説明をお願いします。

4. 報告

(1) 福祉・教育部会の取り組みについて

【佐藤昌司振興課課長補佐】

はい、4の報告事項ということで福祉・教育部会の取り組みについてということで資料の4、

ご覧頂きたいと思います。第2回の矢島まちづくり協議会では振興・建設部会、それから産業部会の事業計画について地域づくり推進事業を使って事業に取り組んで参りますということで報告させて頂きましたが、福祉・教育部会の取り組みについて、まだ、ご説明していなかったので、ご報告申し上げたいと思います。福祉・教育部会につきましては高齢者と子供が楽しく安心して暮らせるまちづくりということの企画立案をこれまでやって参りましたが、来年度というか事業計画の方を取りまとめました。まず始めにアンケート調査の実施ということで、これは平成30年の1月に実施済みなのですが、行政協力員を対象にしたアンケート調査を行っております。そのアンケートの内容、それから結果につきましては、ここに書いてあるとおりなのですが、まずは共助組織の育成について、ということの内容についてアンケートして参りまして組織の立ち上げに関心があるか関心が無いかということでアンケートしたところ関心があるという町内会が24町内ありました。また、その共助組織の立ち上げのモデル地区に要請した場合に受け入れても良い、という町内会が、その内8町内会ありました。という内容でございました。あとは買い物支援、移動販売車が来ているのか、来ていないかとか、移動販売車が来れば利用するかですとか、そういった内容をアンケートしております。それから高齢者の生きがいについてということで高齢者ふれあいサロンを開催しているか、していないか、というアンケートも実施しております。地域における共助組織の育成を、じゃあ、どうやっていきましょうか、ということで、そのアンケートに基づきましてモデル地区に協力できる町内会の対応ということでアンケートの結果、8町内会が受け入れ可能だということでしたので、間髪をいれずに指導協力をしていけば良いんじゃないかということでしたので2月から3月中に個別に指導協力を行うということにしております。その結果、館町が2月の11日に共助組織を立ち上げております。設立済みというふうになっております。それから関心がある町内会の対応ということで共助組織の立ち上げの勉強会を開催するということで平成30年の秋に開催する予定で計画をしております。それまでの間に共助組織設立時の特典なんかを、ちょっと考えないと、やはり、なかなか立ち上がっていかないんじゃないかということで、そういった事も部会を開催して勉強会を開催するという形にしたいというふうに思っております。それから(3)の買い物支援、それから高齢者の生きがいについてですけれども、随時、部会での勉強会をしていくという形の事業計画でありますので、皆さんに、ご報告申し上げます。以上でございます。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございます。まず、早速、成果が出たということで一安心しております。引き続き、今後とも30日も宜しくお願ひしたいと思います。この件については皆さんの方から、ご質問ございませんか。その他ということで、ございますか。はい、Aさん。

【A委員】

はい、私の方から2点ほど、会社の宣伝という所もありまして由利本荘市の補助金も入ってまして2点ほど説明させて頂きます。先程、矢島地域の主な行事予定という部分で、お話ありましたけれども当社としましても5月の3、4、5、6日と、まあ、ちょっと、この辺あたり、ありましたけれども全国の児童福祉週間というものに併せまして小学生は無料で乗れるという対応をとってます。大人は通常の料金、取りますけれども、小学生までは子供料金のところ無料で乗せるという対応を予定しております。それが1点です。もう一つは先程、ありましたけれども鳥海山おもちゃ美術館に関連しまして当社の方でも、おもちゃ列車という様なことで話ありましたけれども、こちらの方は5月の7日から5月の31日まで今、現在、池田修三号ラッピング列車とありますけれども、こちらYR2001号、こちらの方を目安にして6月1日から、先程チラシにあ

ったようなサンプルありましたけども、そのような形で列車に変貌をとげて運行したいというふうに考えてます。あと参考までに、もう一つ、エボルタ号と言いますけども、そちらの方は、もう一年間、延長するということになりましたので、皆さん、ご承知頂ければ参考までということです。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。他に、ございませんか。はい。

【B委員】

毎月2回、配布になってる広報の件なんでございますけども、2回も必要なものでしょうかと思えます。記事を見ますと、それなりの記事も載ってるわけなんですけれども非常に、編集する職員の方も大変なんじゃないかと思うんです。配布する方も、それなりの負担もあるかと思えます。ですから、もうちょっと内容を濃くして月1の実のある内容のあるものですか、やって貰えれば、これも、また経費の削減になるのではないかなと、この様に考えられる場合もあります。我々、町内の班長を決めて配布させてますけども、配ったらまたかと言われるものですから、他の町内の方からも、よく聞こえます。ですから、ある程度、これも情報開示に逆行するかとは思いますが、もうちょっと内容を厚くして月1の報告で宜しいんじゃないかなと、私も思ったものですから一言ご意見申し上げたいと思います。

【茂木振興課長】

広報2回の配布の件につきましては全市的な話という事になることかと思えます。いろいろな面で行政協力員の方々に、その広報の配布のみに関わらず、ご協力頂いているというのが現実で、またかとおっしゃられる、そのお気持ち充分にお察しいたします。あの今回この矢島まちづくり協議会の場で、そういう、ご意見がでましたと、内容的には月1回のものを充実させてという様なことです。出ましたというのは担当の方、そして上の方にも伝えておきますので、結果といたしましては、この後をご注目、頂きたいと言いますか、という回答に、この場では留めせて頂きたいと思えます。

【B委員】

その他のはずですので。

【茂木振興課長】

はい。

【佐藤久美会長】

他にございませんね。はい、じゃ、この場でなんですけども、懇親会のところでとも思ったんですが、この場で、お帰りになられる方もおりますので、実は、3月で円満退職なされる方が、3名ございます。大変、お世話になりました。佐藤俊一支所長それから伊藤昌子市民福祉課長、それから佐藤のり子教育学習班長と3名の方が円満に退職される予定でございますので本当に皆さんお世話になりました。本当に有り難うございました。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。本当に有り難うございました。

【佐藤俊一支所長】

あとで、ご挨拶しようかと思ってたんですが、いろいろ、まちづくり協議会の関わりの年数ですが、まちまち、何かありますけども三人とも矢島町役場からの職員でありまして、この協議会に限らず、これまでお世話になりました。今後とも、この地域でいろいろと関わりを持ちながらということに変わりがないと思いますので、この後も、ずっと宜しく願います。大変、どうも有り難うございました。

閉 会

【佐藤久美会長】

それでは、これで第3回のまちづくり協議会を閉じさせていただきます。本当に、ご協力ありがとうございました。

【H29.8～H31.7 期】

第3回 矢島まちづくり協議会 出席者名簿

委員

No.	氏 名	部 会 名	備考	協議会出欠
1	佐藤 久美	②福祉・教育	会長	○
2	佐藤 亮一	③産業		○
3	小番 力	②福祉・教育		×
4	藤原 和信	①振興・建設	振興・建設副部長	○
5	太田 晃一	①振興・建設		○
6	佐藤 純子	②福祉・教育	福祉・教育副部長	○
7	山口 晃治	③産業	産業副部長	○
8	三浦 秀人	①振興・建設	副会長	○
9	木村 秀紀	③産業	産業部長	○
10	今野 千代子	③産業		○
11	茂木 マキ子	②福祉・教育		○
12	佐藤 俊之	③産業		×
13	土田 トシ子	③産業		○
14	三浦 恵美	①振興・建設		○
15	赤川 忍	②福祉・教育		×
16	佐藤 京子	①振興・建設		○
17	佐藤 佳喜	②福祉・教育		×
18	土田 重夫	②福祉・教育	福祉・教育部会長	×
19	池田 優香	③産業		○
20	佐藤 一弘	①振興・建設	振興・建設部長	○

15